

## 第2回 神崎郡ごみ処理施設建設用地選定委員会 次第

平成30年11月27日（火）

午後2時00分～

中播北部クリーンセンター会議室

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 議題

(1) 第1回選定委員会の会議録について

(2) 評価項目について

(3) 評価項目に対する配点について

(4) 候補地の現地確認について

(5) その他

### 4 閉会 副委員長挨拶

## 神崎郡ごみ処理施設建設用地選定の手順（案）

郡内自治会（区）を対象とした公募 … 応募2カ所

+

3町からの建設可能地の抽出 各町1カ所 … 計3カ所

= 計5カ所



用地選定委員会 … 5カ所について評価

### 評価の方法

#### ① 基礎評価

「自然災害発生リスク」「施設建設のための敷地の状況」の把握。

#### ② 比較評価

「候補地の現況」「施設建設のための財政」「周辺環境」の視点から候補地を点数化することにより優劣の決定。



評価結果を中播北部行政事務組合管理者及び3町町長へ報告（答申）



管理者及び3町の町長は評価結果に基づき、候補地を1カ所に絞り込み



当該1カ所の候補地の住民、周辺地区・施設等との合意形成



候補地 ⇒ 「建設用地」に決定

## 候補地評価調書（案）

候補地名： ○○町△△区

### 1 基礎評価

視点	No.	評価項目	評価の考え方	適合判断基準	評価	備考
安全性	1	活断層との位置関係	断層のずれが発生した場合、構造物等に多大な被害が生じるため、地震災害の危険性が高い場所での立地は避ける。	敷地内に活断層が存在するか否か。		
	2	災害関連法の指定の有無	以下の指定地区に指定されていないか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地崩壊危険区域</li> <li>・砂防指定地</li> <li>・地すべり防止区域</li> <li>・土砂流出危険区域</li> <li>・崩壊土砂流出危険区域</li> <li>・災害危険区域</li> <li>・重要水防区域</li> </ul>	該当するか否か。		
用地の状況	3	敷地の形状	施設全体の配置のため一定の敷地幅が必要である。 (100m×100mの四角形の配置が可能か。)	配置が可能か、困難か。		
	4	敷地の面積	施設全体の配置のため一定の敷地面積が必要である。 (平地もしくは造成により20,000㎡程度の用地が確保できるか。)	面積確保が可能か、困難か。		

候補地評価調書（案）

候補地名： ○○町△△区

2 比較評価

視点	No	評価項目	配点	評価点数			得点	備考
				A	B	C		
候補地の現況に関する視点 40点	1	地盤の軟弱度	5点	軟弱地盤ではなく、支持力の確保が可能	軟弱地盤ではないが支持力確保に課題がある	軟弱地盤で、支持力の確保が難しい		
				5点	3点	1点		
	2	危険地域の設定の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する		
				5点	3点	1点		
	3	自然環境保全関連法令に係る許認可の容易性	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する		
				5点	3点	1点		
	4	その他重要な自然環境の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する		
				5点	3点	1点		
5	指定文化財、埋蔵文化財の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する			
			5点	3点	1点			
6	農業振興地域農用地区域の指定状況	5点	該当しない	該当するが除外は可能	該当し除外が困難			
			5点	3点	1点			
7	土地所有者	5点	点数＝配点×最も少ない候補地の土地所有者数 ÷当該候補地の土地所有者数				別紙5にて算出	
8	候補地の現況に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
財政に関する視点 30点	9	障害物の有無	5点	障害物がない	障害物はあるが影響は軽微	障害物があり影響が大きい		
				5点	3点	1点		
	10	造成費及び用役整備費	5点	点数＝配点×最も安価な候補地の造成・用役整備費 ÷当該候補地の造成・用役整備費				別紙1にて算出
	11	用地取得費	5点	点数＝配点×最も安価な候補地の用地取得費 ÷当該候補地の用地取得費				別紙2にて算出
	12	道路整備費	5点	点数＝配点×最も安価な候補地の道路整備費 ÷当該候補地の道路整備費				別紙3にて算出
	13	収集運搬効率	5点	点数＝配点×最も値が小さい候補地の値 ÷当該候補地の値				別紙4にて算出
14	財政に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
関周する環境視点 30点	15	都市計画区域の指定状況	5点	工業系の用途地域に指定	用途指定なし	住宅系の用途地域に指定		
				5点	3点	1点		
	16	住宅との位置関係	10点	半径300m以内に存在しない	半径100m～300mに存在	半径100m以内に存在		
				10点	5点	1点		
17	教育・医療福祉施設との位置関係	10点	半径300m以内に存在しない	半径100m～300mに存在	半径100m以内に存在			
			10点	5点	1点			
18	周辺環境に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
合計			100点					

候補地評価調書

参考

候補地名： 神河町福本  
 (中播北部クリーンセンター敷地)

1 基礎評価

視点	No.	評価項目	評価の考え方	適合判断基準	評価	備考
安全性	1	活断層との位置関係	断層のずれが発生した場合、構造物等に多大な被害が生じるため、地震災害の危険性が高い場所での立地は避ける。	敷地内に活断層が存在するか否か。	敷地内に活断層は存在しない。	
	2	災害関連法の指定の有無	以下の指定地区に指定されていないか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域</li> <li>・土砂災害特別警戒区域</li> <li>・砂防指定地</li> <li>・地すべり防止区域</li> <li>・急傾斜地崩壊危険区域</li> <li>・洪水浸水想定区域</li> <li>・河川保全区域</li> </ul>	該当するか否か。	土砂災害警戒区域に該当。	
用地の状況	3	敷地の形状	施設全体の配置のため一定の敷地幅が必要である。 (100m×100mの四角形の配置が可能か。)	配置が可能か、困難か。	東西約130m 南北約70mの長方形の敷地である。	
	4	敷地の面積	施設全体の配置のため一定の敷地面積が必要である。 (平地もしくは造成により20,000㎡程度の用地が確保できるか。)	面積確保が可能か、困難か。	敷地面積：9,400㎡	

候補地評価調書

参考

候補地名：神河町福本  
(中播北部クリーンセンター敷地)

2 比較評価

視点	No	評価項目	配点	評価点数			得点	備考
				A	B	C		
候補地の現況に関する視点 40点	1	地盤の軟弱度	5点	軟弱地盤ではなく、支持力の確保が可能	軟弱地盤ではないが支持力確保に課題がある	軟弱地盤で、支持力の確保が難しい	3	中生代の地層と新生代の地層の境目
				5点	3点	1点		
	2	危険地域の設定の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する	1	福本川 → 土石流危険渓流
				5点	3点	1点		
	3	自然環境保全関連法令に係る許認可の容易性	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する	5	
				5点	3点	1点		
	4	その他重要な自然環境の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する	5	
				5点	3点	1点		
5	指定文化財、埋蔵文化財の有無	5点	該当しない	該当するが影響は軽微	該当する	3	古墳の存在	
			5点	3点	1点			
6	農業振興地域農用地区域の指定状況	5点	該当しない	該当するが除外は可能	該当し除外が困難	5		
			5点	3点	1点			
7	土地所有者	5点	点数=配点×最も少ない候補地の土地所有者数 ÷当該候補地の土地所有者数				別紙5にて算出	
8	候補地の現況に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
財政に関する視点 30点	9	障害物の有無	5点	障害物がない	障害物はあるが影響は軽微	障害物があり影響が大きい	5	
				5点	3点	1点		
	10	造成費及び用役整備費	5点	点数=配点×最も安価な候補地の造成・用役整備費 ÷当該候補地の造成・用役整備費				別紙1にて算出
	11	用地取得費	5点	点数=配点×最も安価な候補地の用地取得費 ÷当該候補地の用地取得費				別紙2にて算出
	12	道路整備費	5点	点数=配点×最も安価な候補地の道路整備費 ÷当該候補地の道路整備費				別紙3にて算出
	13	収集運搬効率	5点	点数=配点×最も値が小さい候補地の値 ÷当該候補地の値				別紙4にて算出
14	財政に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
関周する環境視点 30点	15	都市計画区域の指定状況	5点	工業系の用途地域に指定	用途指定なし	住宅系の用途地域に指定	3	
				5点	3点	1点		
	16	住宅との位置関係	10点	半径300m以内に存在しない	半径100m～300mに存在	半径100m以内に存在	10	
				10点	5点	1点		
17	教育・医療福祉施設との位置関係	10点	半径300m以内に存在しない	半径100m～300mに存在	半径100m以内に存在	10		
			10点	5点	1点			
18	周辺環境に関する視点における各委員の主観に基づく評価	5点	良い	普通	悪い			
			5点	3点	1点			
合計			100点				50	／60

## 候補地現地確認行程表（案）

1. 日 程 平成 30 年 12 月 5 日（水）

2. 集合時間・場所 13時30分 中播北部クリーンセンター 多目的室

3. 行 程

予定時間	調査場所	備考
13:30 集合 13:50 出発	中播北部クリーンセンター	打合せ
14:00 到着 14:10 出発	神河町候補地	
14:30 到着 14:40 出発	市川町候補地	
14:50 到着 15:00 出発	市川町候補地	
15:20 到着 15:30 出発	福崎町候補地	
15:40 出発 15:50 終了 解散	福崎町候補地	

4. 配車等

\*福崎町ワゴン車

福崎町選出委員 4 名・委員長・町事務局

\*市川町ワゴン車

市川町選出委員 4 名・環境参事・町事務局

\*神河町ワゴン車

神河町選出委員 4 名・副委員長・町事務局・中播北部事務局